

「蓄電池関連政策、資源循環、事業展望」と題して、経済産業省 笠井一哲氏/早稲田大学理工学術院 所千晴氏/伊藤忠商事株式会社 道野僚太氏によるセミナーを2025年1月9日（木）に開催!!

新社会システム総合研究所(SSK)は、下記セミナーの開催運営事務局を行います。

株式会社 新社会システム総合研究所 2024年12月3日 15時00分



蓄電池関連の政策、資源循環、事業展望

新社会システム総合研究所は

公益財団法人 原総合知的通信システム基金(大阪府大阪市 代表理事 原 健人)

との業務受託により最先端のICT情報を発信しております。

[セミナー詳細]

https://www.ssk21.co.jp/S0000103.php?spage=pt_25025

[講師]

経済産業省 商務情報政策局 電池産業課 係長

笠井 一哲 氏

早稲田大学理工学術院 創造理工学部 環境資源工学科 教授

東京大学大学院 工学系研究科 システム創成学専攻 教授

所 千晴 氏

伊藤忠商事株式会社 次世代エネルギービジネス部 統括

道野 僚太 氏

[日時]

2025年1月9日（木） 午後1時～4時50分

[受講方法]

■会場受講

紀尾井フォーラム

東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

■ライブ配信 (Zoomウェビナー)

■アーカイブ配信 (2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴可)

[重点講義内容]

<1>蓄電池産業の現状と今後の方向性

笠井 一哲 氏 【13:00～14:10】

蓄電池は2050年カーボンニュートラル実現のカギ。モビリティの電動化や再生可能エネルギーの主力電源化に向けた電力の需給調整等に不可欠な重要物資である。主要国政府は国を挙げて蓄電池に対する大規模な政府支援を実施しており、日本においても官民一体となってその取組を進めているところ。

本講演では、蓄電池の技術革新と市場拡大が世界で進む中、我が国の蓄電池産業戦略について、基本的な考え方と方向性等を御紹介する。

1. 蓄電池の重要性・市場動向
2. 蓄電池のサプライチェーン
3. 海外における政府・産業界の動向
4. 蓄電池産業戦略と現状と方向性
5. 質疑応答／名刺交換

<2> 蓄電池の資源循環プロセスの現状と課題

所 千晴 氏 【14:20～15:30】

カーボンニュートラル政策とも相まって需要拡大が見込まれる蓄電池は、欧米、中国など各国がそれぞれの立場から資源循環に取り組んでおり、日本としても処分場ひっ迫や適正処理の観点のみならず、環境・人権デューデリジェンスや資源安全保障の観点からもサーキュラーエコノミー実現が求められる。そのため種々の分離プロセスが開発検討されているが、まだ国内には安定した2次資源市場が形成されておらず、課題も多い。

本講演では資源循環プロセス開発を中心に、その現状と課題を紹介する。

1. 資源循環とカーボンニュートラル
2. 蓄電池のサステナビリティ
3. 資源循環のための分離濃縮技術の概要
4. リチウムイオン電池の資源循環プロセスの概要
5. ダイレクトリサイクルへの取り組み
6. 質疑応答／名刺交換

<3> 伊藤忠の考える蓄電池関連事業の最新動向

道野 僚太 氏 【15:40～16:50】

商社である伊藤忠商事は蓄電池事業にコミットし、メーカーポジションを取って家庭用蓄電池や産業用・系統用蓄電事業そしてEV関係事業を行っており、製品の販売だけでなく電池部材取引・新電池開発、VPPや系統制御において設備保有者や運用者ともなり、EV用を中心とすると電池のリサイクルやリユースを事業化し電池のサーキュラーエコノミーを実現している。

その中で今回は、注目度の高い産業用・系統用蓄電池に着目し、直近事例やビジネスモデルについて説明致します。

1. 講演者・組織の紹介
2. 伊藤忠の環境・エネルギービジネス全容
3. 蓄電池、再エネ事業の概要
4. 製品ラインナップ・新品／リユース蓄電池の概要
5. ビジネスモデル・事例・今後の展望
6. 質疑応答／名刺交換